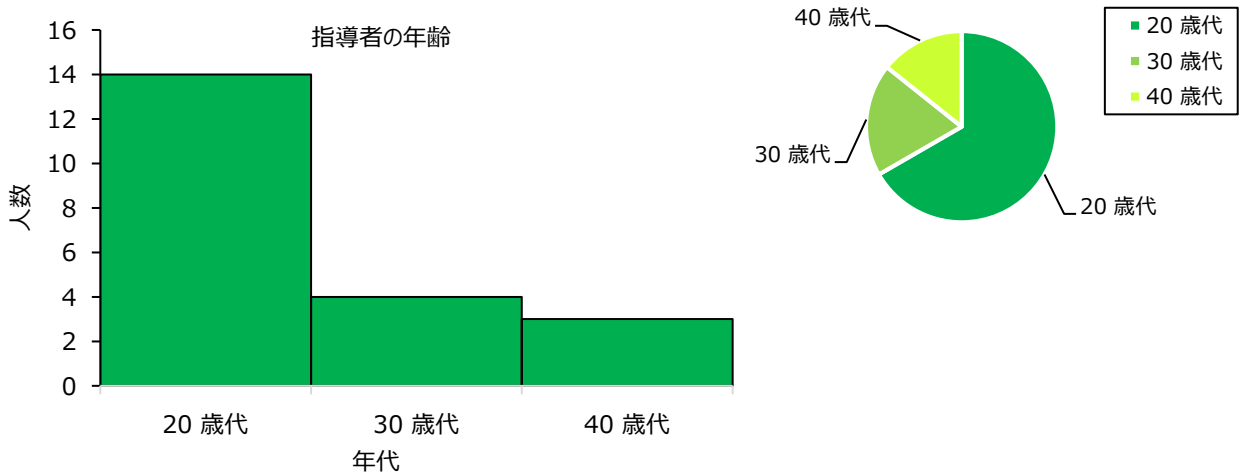


## 技能五輪全国大会の指導者がおこなう課題指導について A7

## 競技職種：メカトロニクス

### 指導者についてのアンケート結果

#### 指導者の年齢



	20 歳代	30 歳代	40 歳代	欠損値	合計
人数	14	4	3	0	21

#### 指導者としての競技大会への参加経験

・参加経験

	若年者ものづくり 競技大会	技能五輪全国大会	技能五輪国際大会	技能グランプリ大会	その他の大会
あり	2	20	2	0	0
なし	18	1	17	19	0

#### 選手としての競技大会への出場経験

・出場経験

	若年者ものづくり 競技大会	技能五輪全国大会	技能五輪国際大会	技能グランプリ大会	その他の大会
あり	3	17	1	0	1
なし	17	4	17	18	0

## 指導者の保有資格

	人数
機械保全、電子機器組立、機械指導員	1
技能検定2級<シーケンス制御>	1
技能検定シーケンス制御1級	1
シーケンス①機械系保全、電気系保全①、機械検査①、職業訓練指導員	1
シーケンス1級、電気保全2級	1
シーケンス1級、メカトロニクス指導員免許	1
シーケンス2級、電気保全2級	1
シーケンス検定1級・指導員免許	1
シーケンス制御、電気保全等	1
指導員免許（メカトロニクス）	1
電気機器組立（シーケンス制御作業）	1
電子機器関連、ロボット関連	1
電子機器組立て	1
配電盤、シーケンス制御1級	1
リレーシーケンス一級	1

## 課題についてのアンケート結果

### (1) 競技課題の要素について難易度

・標準課題のステーション製作（欠損値：0）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい	わからない
人数	4	6	0	11	0	0

・単体動作のプログラム（欠損値：0）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい	わからない
人数	6	4	0	11	0	0

・標準課題のプログラム（欠損値：0）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい	わからない
人数	5	7	1	8	0	0

・応用課題のプログラム（欠損値：0）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい	わからない
人数	9	1	4	1	3	3

・第2課題のステーション改造（欠損値：0）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい	わからない
人数	9	6	4	1	0	1

・第2課題のプログラム（欠損値：0）

	ふつう	やや易しい	やや難しい	易しい	難しい	わからない
人数	9	6	1	4	0	1

指導の際に、心掛けたこと

	人数
選手一人ひとりに合わせて、教える内容や教え方を変える。（同じ内容や同じ教え方にはしない。各々がしっかり理解してくれる様に教える）	1
自分の経験で得た知識をできるだけ伝えられるようにしていた。	1
「今は出来てないが必ず出来るようになる」と指導員が匙を投げない。	1
大会課題を想定しルールや仕様書対策、また、課題製作者の意図まで考えることを意識させた。	1
プログラム課題／メカ組立て それぞれについて、こだわりをもって作業させた。（例えば、メカ組み立てであれば、直角・平行に気をつけるなど）	1
自分や周りの訓練生内で考えさせる時間を設け、問題解決能力や自発的に仕事出来る様に心掛けた。	1
・選手が思った事を言えるような環境にしようと心掛けた（出来る限り否定しない） ・要因分析や対策立案についてのやり方に関しては特に力を入れて指導した→自分自身で問題解決出来る能力の醸成	1
大会の結果だけでなく、配属に向けての人材育成も同時に行うこと。	1
選手の考え方を必ず聞く	1
金メダル獲得することは、目指していますが、会社、社会で役に立つ、人となりになる人材を育成することを忘れないようにしています。	1
・モチベーションを維持させること ・設備の原理、原則を理解させること	1
モチベーションを高く維持し、結果を意識させること。	1
メカトロだけでなく、実勤での作業もふまえながら、選手を卒業した後もスムーズに業務に入れるよう心がけている。	1
・初見課題を意識した工程を徹底する事。 ・製作側の傾向を分析し、それに合った読解方法、製作方法を指導、徹底させた。	1

必要最低限のことのみを説明し、選手自らが考え、練習に取り組むように心掛けました。	1
選手自ら、考え、行動できるようにすること。問題を発見し、解決できる力を育成すること。	1
選手の意見を取り入れながら、やらせるではなくやりたいと思わせるように指導した。	1
その選手にあった指導方法で訓練をサポートすること。	1
ストイックさ	1
ペア競技なので指導は1人に偏らない様に気を付けた	1